

研究実施のお知らせ

研究課題名

当院における訪問リハビリテーションの介入効果・有用性に関する調査

研究の対象となる方

2008年4月から2022年6月の14年間で当院訪問リハビリテーションを利用された方が対象です。

研究の目的・意義

島根県大田市は人口約33,000人で65歳以上の人口が40%を占めています。そのうち、約23%の方が要支援・要介護認定を受けておられます。これは全国1527市区町村の中で81番目、島根県7市町村の中で2番目に多い受給率です。当院訪問リハビリテーションも介護保険サービスのひとつとして支援を行っています。当院ではサービスの内容を調整するために、利用者さん本人だけではなく、家族さん、ケアマネージャーを始めとした関連職種での会議を行うことを2015年より開始しました。本研究ではこれまで訪問リハビリテーションの状況をカルテから情報収集し、会議を行うことによって利用者さんの生活がどのように変化したのか、希望に合った内容を提供できているのかを調べます。これらから皆様が「やりたいこと」「やってみたいこと」をより現実的に叶えられる工夫について考えていきます。

研究の方法

データの収集

研究対象者のカルテから次のデータを収集します。

年齢、性別、身長、体重、必要介護度、地域、同居者の有無、生活動作能力、栄養状態、認知機能、主病名、併存症・既往症、検査データ(血液、画像)等

個人情報の取り扱いについて

収集したデータは、大田市立病院の外部から容易にアクセスできないパソコンに保管します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表することを予定しています。

研究対象者の利益・不利益について

この研究は過去の診療録の記録から関連する情報を集めるものであり、研究によって個人の不利益や危険性が生じることはありません。また、新たな負担は一切ありません。

研究の期間

2023年3月～2024年3月

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

たとえ研究にご協力いただけなくても、今後の診療など医療サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることは一切ありません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の研究責任者にご連絡ください。

研究責任者：

大田市立病院 リハビリテーション技術科 理学療法士 佐藤優太

電話 0854-82-0330(代表番号)